



vol.25
2014
春号



診療科
見学note

MATSUSHITA
REPORT

病院の
なあにこれ？

中央放射線部

救急看護認定看護師

移動型X線画像診断システム
FPD (フラットパネルディテクター)

- 健康コラム No.6
花粉症対策
- Closeup お仕事
管理栄養士の紹介
- News Spot
エキシマライト光線療法機器導入
- news
膝かけ毛布・タオル・傘貸し出し

みんなの目に触れる機会は少ないですが、
現在の医療に欠かせない存在です!

スタッフ紹介

■ 放射線科医とはなにをしている人?

CTやMRIなどの画像検査を診断する画像診断医と放射線を利用してがんなどの治療を行う放射線治療医がいます。

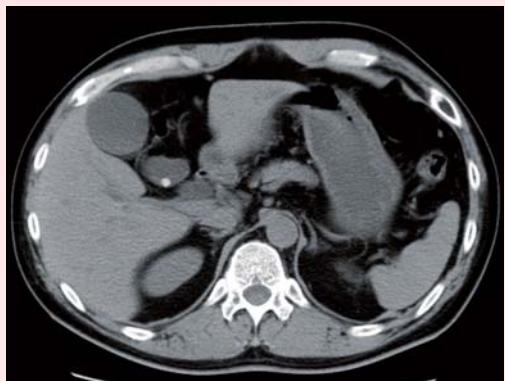


牛嶋 小谷 田中 加藤 馬場

画像診断とはどのような仕事ですか?

単純X線検査や透視検査、CT検査、MRI検査、血管造影検査、核医学検査など、みんなの体の中の状態を画像にするいろいろな検査があります。それらの画像を専門的な知識と経験をもちいて解析し、診療に役立つ情報を提供する仕事です。いろいろな装置があるので、検査を受けられる方の立場にたって、適切な検査が行われるようにアドバイスする役割もあります。

腹部CT画像



ノバリスTx (Novalis Tx)



からだへの負担をより軽減しながら「切らずにがんを治す」方法として活躍しています。

なぜ、放射線治療が注目されているの?

外から放射線を当てる方法では、がん周囲の正常組織も放射線の影響を受けるため、がんをなくすほどの放射線を当てられないこともありました。しかし、治療装置の進歩により病気のところに放射線を集中させやすくなりました。小さな病変に対する定位放射線治療や放射線に弱いところへの影響を少なくする強度変調放射線治療なども登場し、放射線の悪影響を抑えながら、がんを治せる可能性が高まってきたためです。

血管造影検査



血管造影検査の様子



血管造影用カテーテル

血管造影検査とはどのようなものですか？

カテーテルといわれる細い管を体内に挿入して行う検査や治療です。病気のところに薬を注入したり、体内にたまたった膿を吸引したりします。放射線科では主に直径1~2mmの細いカテーテルを血管の中に通して、肝臓がんや膀胱がんに抗がん剤を注入したり、胃の静脈瘤を固ませたりします。消化管からの出血を止めることもできます。血管の中でカテーテルを動かしても痛みを感じることはなく、外科手術よりも体への負担は少なくてすみます。



- 『放射線と冷静に向き合いたいみなさんへ』
R.P. ゲイル&E. ラックス著 早川書房
- 『放射線医療 CT診断から緩和ケアまで』
大西正夫著 中公新書
- 『やっかいな放射線と向き合って暮らしていくための基礎知識』
田崎 晴明著 朝日出版社
- 『がんの放射線治療がよくわかる本』
唐澤 克之著 主婦と生活社

放射線のギモンにお答えします…

Q CTなどの放射線検査で被ばくが心配なのですが

A 検査に使用する放射線でも将来的への影響はゼロとはいませんが、からだの中のくわしい情報を得ることができ、現在の問題解決に役立ちます。どちらの方が患者さまの利益になるかで検査を行うか、またどのような検査を行うか、を判断します。

Q 放射線治療でどんながんでも治りますか

A 残念ながら、放射線があまり効かないがんもあります。がんの種類や広がり具合によっては、手術や抗がん剤なども組み合わせて治療を行います。専門医といわれる医師たちが患者さまに合うと思われる方法を提案いたします。

Q 定位放射線治療とは何ですか

A 小さな病変に対して、体をしっかりと固定し、多方向から放射線を集中させる治療です。今までよりも副作用が少なく、かつ病気が治る可能性を高めた治療です。体への負担が少なく、多くの方は通院で治療が可能です。

Q IVRとは何ですか

A Interventional radiologyの略でX線透視装置やCT装置の画像をしながら細い針や管を使って病気の診断や治療を行うことです。局所麻酔で済むことが多く、患者さまの体への負担が少ないため、さまざまな病気に対して用いられてています。

救急看護認定看護師

認定看護師とは特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識があると認められた看護師のことを言います

●役割

- ①個人、家族及び集団に対する**水準の高い看護実践**
- ②患者さま・ご家族および看護職に対する**指導**
- ③看護職・他職種からの**相談**に応じる



くにはら
國原看護師

●救急看護とは

救急看護は、重症度を問わず、急性の健康障害を抱えておられる患者さまとご家族に対して、発症・受入時から身体的・心理的・社会的支援を行います。



一次救命処置

●救急看護認定看護師とは

高度先進医療を担う救急医療ニーズにこたえて、救命技術から危機的状況にある患者及び家族への精神面の看護に至る幅広い救急看護領域の知識や技術に熟達し、的確な判断に基づいた確実な救命技術の実践や指導を行う看護師のことを言います。



人工呼吸器に関する指導

●活動

集中治療室で緊急救度・重症度が高く、病状が不安定で急に病状が変化する可能性のある患者さまとそのご家族のケアを行っています。安全で安心して過ごせるような援助がチームで提供できるよう指導講習会を行っています。また、患者さまが心肺停止状態となった時に迅速で確実な救命処置が実践できるよう、救命処置に関する指導も行っています。集中治療室だけではなく一般病棟で入院されている患者さまに関する相談に応じています。

●私が認定看護師として大切にしていること

時や場所を選ばず様々な状態で来院され、救急医療を必要とする患者さまには、身体的な問題だけでなく、心のケアにも重点を置いた看護が必要だと考えています。病態の緊急救度・重症度が関連した時間制限の中、少ない情報から患者さまを観察・判断・予測し、全身状態の急激な変化に即応した診療の補助と看護援助、危機的状況下にある家族への精神的ケアを行いたいと考えています。

病院
の
なあに
これ?
!

vol.5

病室などの撮影対応がスピードアップ

新しく導入されたシステムは、X線撮影室まで移動することが困難な患者さまや、救急・緊急の検査が必要な患者さまに対して、移動型X線画像診断システムを用いて、圧倒的な撮影作業の効率化を実現。

特長



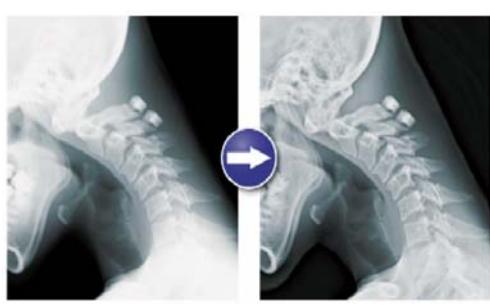
1 従来は撮影後に診断室で画像確認をしていましたが、この装置は約2秒後に画像をその場で確認でき、画像処理も早く、次の撮影が10秒後には可能になります。

2 以前は患者さま一人に数枚の受光板(カセット)が必要なため持ち運びが大変でした。今回のシステムは一枚ですべての対応ができ、スムーズな撮影業務が可能になりました。

3 画像処理はワイヤレス方式で転送するため、素早く電子カルテへ送信することができ、医師の診断に際して、大きな手助けとなります。



回診車搭載イメージ



少ないX線量でシャープな画像

このシステムは、わずかなX線量でよりシャープな画質で提供できますので、患者さまにとっても以前より少ない被ばくに抑えられます

画像処理技術がさらに進化

こンピューター演算処理により、昔のフィルム撮影では見えなかつたところが見えるようになり画像内の診断情報量が格段に増大しました。

花粉症対策

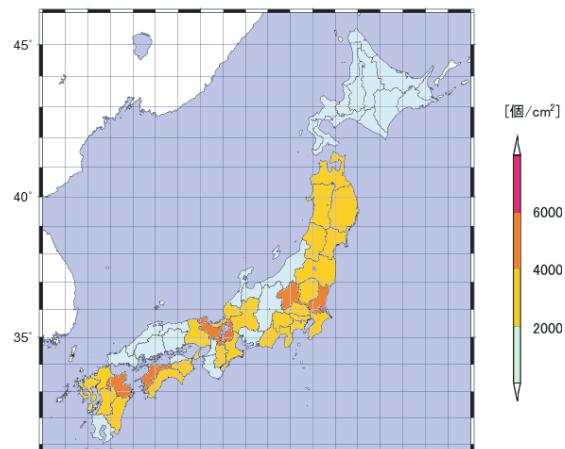
～花粉と接触する機会を減らし、早めの治療を～

花粉症は国民の5~6人に1人が罹患するとも言われ、今や国民病になりつつあります。花粉症は、くしゃみ、鼻水や眼のかゆみなどが起こり、集中力や思考力を欠き、重症になると体調を崩したり、日常生活にも影響を及ぼします。

花粉症対策は花粉と接触する機会を減らし、自分自身の免疫力を高めることが必要です。また、花粉症はくしゃみ発作や鼻閉の程度に合わせて最重症～無症状まで5段階に分類されます。症状に応じた治療が必要となりますので、重症度を把握し、早めの治療をお奨めします。

●各症状の程度

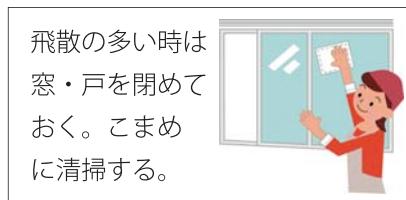
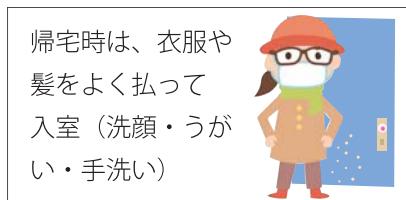
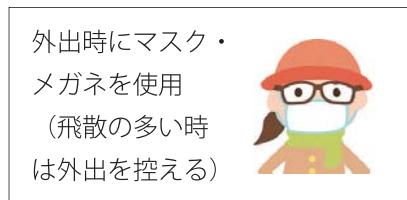
(アレルギー性鼻炎症状の重症度分類より)



平成26年春における都道府県別花粉総飛散量(スギ、ヒノキの総数)
予測(第2報)
環境省1月31日公表

種類	++++	+++	++	+	-
くしゃみ発作 (1日平均発作回数)	21回以上	20~11回	10~6回	5~1回	0
鼻汁 (1日平均擤鼻回数)	21回以上	20~11回	10~6回	5~1回	0
鼻閉	1日中完全につまっている	鼻閉が非常に強く、 口呼吸が1日のうち かなりの時間あり	鼻閉が強く、 口呼吸が1日のうち ときどきあり	口呼吸は全く ないが、鼻閉 あり	なし
日常生活の支障度	全くできない	手につかないほど 苦しい	+++と+の間	あまり差し 支えない	支障なし

花粉症のセルフケア



花粉飛散のピーク時期は、近畿地方は3月上旬になる見込みで、ピーク前後の10日から20日の間も花粉がかなり多いので注意が必要です。鼻や眼などの症状が重い場合は、耳鼻咽喉科や眼科に早めに受診することをお勧めします。

(環境省報道発表資料参照)

管理栄養士の紹介

管理栄養士とは、栄養に関する知識を豊富に持つ国家資格です。



藤井 岡村

管理栄養士の主な業務

- 傷病者に対する療養のため必要な栄養指導
- 個人の身体状況、栄養状態に応じた高度な専門知識および技術を要する健康保持増進のための栄養指導
- 特定多人数に対して継続的に食事を提供する施設における利用者の身体状況、栄養状態、利用の状態等に応じた特別の配慮を必要とする給食管理およびこれらの施設に対する栄養改善上必要な指導

患者さまの自己管理をめざした栄養指導

栄養指導は、病院での管理栄養士の原点であり

- ①病棟においては入院中の患者さまに対して、退院後に再び病状が悪化しないように、食生活を維持できる食事内容についてご家族をまじえて説明します。
- ②外来においては、長期にわたって食事療法を必要とする患者さまに実施します。食事制限のある患者さまでも、普段の食生活やライフスタイルから実行できる範囲の具体的な食事の内容や方法をアドバイスします。例えば、食事の好みを少しでもとり入れ、食事に楽しみを感じてもらえる献立をご紹介します。

チーム医療での役割

NST(栄養サポートチーム (Nutrition Support Team))・肝疾患・糖尿病・褥瘡・移植などさまざまなチーム医療に属しています。

特にNSTは栄養評価の指導や解析、経腸栄養剤の選択と推奨、栄養障害の早期対応、栄養療法に関する問題点やリスク抽出など、各専門スタッフと知識や技術によって最良の方法で栄養支援するチームの一員となって医療の一端を担っています。



集団栄養指導



食材や調理方法のチェック



NSTラウンドの様子



News Spot ニュースポット

松下記念病院 皮膚科 エキシマライト光線療法機器(セラビームUV308)導入



松下記念病院では、いかに発がんリスクを減らしながら、皮膚疾患に対する有効性を高めていくかに焦点を合わせたエキシマライト光線療法を開始しました。

エキシマライト光線療法機器の特性は…

治療には308nmの波長を有する紫外線が有効と言われ、本機器はそれ以外の有害とされる波長の紫外線を極限にまでカットして照射できる機器です。

そのような機器でも紫外線照射には、安全性を確保するために1回の照射量、回数に上限があります。

治療の対象としては…



本機器の照射面積は10cm×8cmですので、体の一部分に照射する機器です。

よって原疾患が全身的には別の治療法でコントロールできても、一部分だけどうしても調子が悪い症例、あるいは最初から体のごく一部の皮膚にのみ生ずる皮膚疾患が治療の対象になります。

治療を受けるには…

難治性の皮膚疾患でお困りの方はご自身の病態がこの治療法の対象となるかどうかは、まずかかりつけの皮膚科専門医にご相談ください。

条件が適合する患者さまに関しては、近隣の皮膚科専門医（機器を導入されていない医療機関）の先生方と連携しながら照射・治療させていただきます。



膝かけ毛布・タオル・傘貸し出します

”ほっこり膝かけ愛”

～院内どこでも貸し出し可能です～



今 年の冬は例年にくらべ寒暖の差が大きく天候が良くない中、来院される患者さまに12月から膝かけ毛布、雨天時のタオル、傘の貸し出しをはじめました。

貸し出しは、病院玄関ロビーで行っておりますが、各診療科の窓口でも可能です。誰でもご利用いただけますので、スタッフまでお気軽にお声かけください。

膝かけ毛布が体だけでなく患者さまと職員の気持ちを「ほっこり♥」させることを実感し、今後も患者さまとのコミュニケーションを大切に、どのスタッフにも尋ねやすい環境をめざして努めてまいります。

発行

お問い合わせ・ご意見等ございましたら、下記までご連絡ください。
松下記念病院 広報委員会 〒570-8540 大阪府守口市外島町5番55号
Tel.06-6992-1231（代表） Fax.06-6992-5808
<http://www.phio.panasonic.co.jp/kinen/htm>

